

|

第2号議案

監査役4名選任の件

提供書面

事業報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

(5)

招集通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

□ . 当事業年度における主な活動状況

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告

計算書類

貸借対照表

科目



(単位：百万円)

株主資本等変動計算書

第106期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

（単位：百万円）

連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業

